

5 スリランカに届いた「日本の袋麺」で町が熱狂

スリランカ米山学友会創立 10 周年記念式典を翌日に控えた 5 月 31 日、北西部にある小さな町、カッカパリヤでは心温まる交流イベントが行われました。

会場は、米山学友のスチッタ グナセカラさん（第 2 代よねやま親善大使／2720Japan O.K. ロータリーE クラブ会員）が経営する日本語学校です。同校は 2009 年に設立され、これまでに 500 人以上が日本語を学び、両国をつなぐ架け橋として歩みを重ねています。

今回、同校の 31 期生が「日本のラーメンをスリランカで振る舞いたい」と発案。第 2720 地区のロータリー関係者や、当財団の大久保章宏常務理事が手分けをして袋麺 500 食・割り箸 500



配布を待つ長蛇の列



ラーメンを笑顔で手渡し

膳を現地へ届けました。

当日は炎天下の中、3 時間以上の待機列ができるほどの人気ぶりで、あまりの反響に紙の器が不足する場面もありましたが、最終的には約 5,000 人に提供することができました。

立ち会った大久保常務理事は「日本では当たり前にある袋麺が、これほどの感動を生む光景を目の当たりにし、ロータリー活動の意義をあらためて実感した」と振り返ります。来年の目標は 10,000 人とのことで、今後の広がりが楽しみです。